

小樽ソーシャルネットワーク 設立趣意書

現代の社会においては、ライフスタイルや価値観の多様化、少子化・超高齢化の到来、環境問題への対応および安全・安心への意識の高まり等、社会・経済環境が急激に変化する一方で、人と人との繋がり希薄化し、地域コミュニティの衰退という現状があります。また、若者の地域への関心も少なくなり、地域全体の連帯感が薄れていく傾向にあります。いわゆるコミュニティの崩壊です。そのような状況下、地域住民の一体感の醸成および地域連携による活性化が喫緊の課題となっています。

以上のような背景のもと、小樽市やその周辺町村では、地域SNSを活用し、地域に特化した情報交換やコミュニティ活性化、まちづくりへの地域住民参加への促進等を促すことが重要な課題として位置づけられていると考えられます。また、その運用も地域住民のニーズに迅速に対応するべく、新たな公としてNPOによる運用が期待されているものです。そこで、その運用団体として、「特定非営利活動法人小樽ソーシャルネットワーク」の設立が必要不可欠となっています。